

ま<sup>ま</sup> 白<sup>しろ</sup>いお米

鯨伏小学校 二年 松永孝うし

「おいしい、おいしい、おかわり！」新米はあまくて  
とてもおいしい。

ぼくのいえではお米を作っている。でも、  
いねかりの前に大雨と大風でいねがたおれて  
しまった。いねがたおれてきかいかつかえな  
かったから、みんながかまでいねかりを作る  
ことにした。ひいおじいちゃん、おじいちゃん  
人、おばあちゃん、おとうさん、おかあさん、  
おにいちゃん、そしてぼく。ひいおばあちゃん  
人も、かんはるみんなのため、ごはんを作る  
てくれた。

田んぼのいねはたおれて、水でひちよひち  
よ<sup>よ</sup>だ<sup>だ</sup>た。田んぼは水もたまっている、入る

と足がぬけなくな<sup>な</sup>た。ひいおじいちゃんか  
「はだしの坊がうごきやすそうだ」と言っ  
長ぐつをぬいだから、ぼくもまねをした。土  
に足を人れるとむじむじとして、ひびあ<sup>あ</sup>と

思<sup>おも</sup>ったけれど、すぐに気もちよくな<sup>な</sup>った。は

だしにな。たらうごきやすくな。て、ほくは  
わらやとうぐをどける手つだいをした。お  
はあちゃんか、そうしく人は足がかるいね。  
たすかるよ。」と言。てくれた。とてもうれし  
かった。みんなでがんば。たから、いねかり  
はぶいにおわ。た。だけど、おじいちゃんか  
ほしたいねを見なが。こんなにとろでよご  
れたいねを、精米屋さんは精米してくるが  
なあ。と心ばいそうに言。た。それを聞いて  
ほくも心ばいにな。た。みんなすこかんば  
たのに、たべられなか。たらかなしい。  
だ。こくがおわ。たら、精米屋さんがお米  
をどけてくれた。ふくろの中を見ると、い  
つもと同じま、白いお米。どろ色じゃなくて  
よかつた。精米屋さん、精米してくれてあり  
かとう。さ。そく夜に新米をたいた。ま。白  
でピカピカ光。ている。味もさい高。ほくは  
おかわりをした。みんなもここにこしている。  
今年もまた、田んぼでいねが大きくな。て  
いる。今年の秋もいねかりがはるぞ！